





# 夢門塾

MUMONJUKU



Careoth People Stories

## キャレオス初のサッカーイベントで、子どもたちの「憧れ」を「夢」へ

3月14日、エディオンヒーローズウィング広島で開催されたサンフレッチェ広島対ガンバ大阪戦の前に、夢門塾の子どもたちがプロ選手とグータッチし、そのまま観戦できる特別イベントを実施。本物に触れることで夢を育む機会づくりとして企画され、これまでのカーブ交流に続く新たな挑戦。今後はサッカーを皮切りに、柔道やバドミントンなど多様なスポーツへ広げていきます。



緊張しながら選手の手元に集中する子どもたち

### 応援団の掛け声で熱気に溢れる会場



当日はお天気に恵まれ、雲ひとつない晴天に！

試合前のグータッチ企画では、抽選で選ばれた20名の子どもたちが特別な体験に参加しました。緊張した様子で待つ中、選手が登場すると一気に空気が変わり、目を輝かせながら一人ひとりとグータッチ。短い時間ながらも心に残るひとときとなり、「本物は迫力が違う」「力強くて格好良かった」といった声が上がりました。社長も「子どもたちの輝く目が印象的だった」と振り返り、忘れられない経験となった様子でした。



グータッチ企画では2名限定でサイン付きボールをプレゼント！



試合に集中する



試合後の記念撮影でも、勝利の余韻たっぷり嬉しげな子どもたち



キャレオスがスポーツの機会を広げるのは、子どもたちが自分の「好き」を見つけ、未来を切り開く力を育むためです。プロのプレーや家族との一体感、選手とのふれあい、勝利の感動が重なり、この日は新たな夢の種をまく特別な一日となりました。



# きらめき保育園

CHILDCARE BUSINESS

VOL  
05  
2026

Careoth People Stories

## 世代を越えて心がふれあう。 きらめき保育園 高木×ゆうゆう高木 あたたかな交流会レポート



ドキドキ出発!笑顔いっぱいカートで訪問へ

◆**ドキドキ出発!  
ゆうゆう高木の  
交流会へ**

◆**秋の交流イベントを通じて、  
子どもたちと  
高齢者の絆が深まる**

◆**秋の交流イベントを通じて、  
子どもたちと  
高齢者の絆が深まる**



笑顔つながる交流会♪  
一緒に楽しくダンス時間



手作りちょうちよ届ける心あたたまる交流会

◆**緊張も笑顔に変わる♪  
心あたたまる交流会**

徒歩1〜2分の敷地内にあるゆうゆう高木へ到着。今回は認知症対応型デイサービスの利用者さんとの交流会です。アットホームな空間で挨拶を交わし、折り紙で作った手づくりのちょうちよスティックをプレゼント。「よう来たねえ」「かわいいねえ」と優しい声が響き、子どもたちの緊張も次第に和らぎました。童謡に合わせて体を揺らし、最後はみんな元気なリズムあそびを楽しみました。

◆**高齢者と子どもの  
日常的な交流で、  
互いに安心と喜びが広がる**

◆**秋の交流イベントを通じて、  
子どもたちと  
高齢者の絆が深まる**



◆**秋の交流イベントを通じて、  
子どもたちと  
高齢者の絆が深まる**



## 企業主導型保育園が地域に開放、親子向けイベント開催中



きらめき保育園高木は、キャラオスグループの企業主導型保育園です。「子どもの主体性を育て、生きる力をきらめかせます」という理念のもと、定員19名の小規模園で、スキンシップとコミュニケーションを大切にされた保育を実践しています。0〜2歳児の異年齢保育により、思いやりの心が自然に育まれる環境が特徴です。社員以外も利用できる地域枠を設けており、未就園児(0〜2歳児)の親子向けに「きら☆りんルーム」という月1回の支援イベントを開催しています。次回は**5月13日に風船あそびを予定**しており、予約不要・無料です。

## 目指す未来を実現するために 各部門の管理者が集結！キャレオスサミット

今年2月に開催された「キャレオスサミット」には、各地で活躍する管理者が集結。社長や経営陣による学びの共有に加え、部門を越えたグループ討議も行われました。今回は運営を担った松井さん、東日本参加の荻野さん、西日本参加の佐々木さんに当日の想いや学びを伺いました。



人事部  
係長 松井亨介さん

当事者意識を持ち楽しみながら意見を出し合える場づくりを心がけました

— キャレオスサミットについて教えてください。

キャレオスサミットは、1000億企業を目指す未来に向け管理者以上が今季方針を共有し、部門を越えて会社の未来を描く場です。経営陣だけでなく参加者一人ひとりが当事者意識を持ち、自ら動く組織づくりが目的。準備は多忙を極めました。重要な場を任された喜びを力にやり切りました。

— 運営においてどんな点を工夫しましたか？

企業理念「三方良し」の中でも今回は「社員良し」に焦点を当て、働きやすさや給与向上に向け自分たちでできることを議論しました。全員が発言しやすい人数設定や雰囲気づくりを工夫し、各班にはファシリテーターを配置。和やかな空気の中で多彩な意見が発見に交わされました。

— 運営をしてみて、手応えを感じましたか？

参加者一人ひとりが真剣に当事者意識を持って向き合い、現場で働く皆さんの思いや日々の姿勢を知る貴重な機会となりました。部門を越えた交流の大切さも再認識。出された意見は経営会議でも検討され、新たな処遇評価制度の導入につながる可能性もある有意義な場となりました。

夢門塾日吉  
マネージャー 荻野春來さん

会社と共に成長したいサミットを通して強く感じました

— サミットを通して感じたこと、学んだこと

学生時代や就職活動で多くの人に支えられた経験から、「同じ悩みを抱える子どもたちを支えたい」というゆゆうへ入社。支えてくれた上司のもとで成長し、現在7年目、管理者として2回目のキャレオスサミットに参加しました。社長らによる「100億宣言」では、現場も当事者として会社と共に成長する意識の大切さを実感。グループ討議では部門や世代を越えて多様な意見に触れ、「社員良し」や「三方良し」を改めて考える機会となりました。前回より主体的に参加でき、大きな学びを得た有意義な時間となりました。



夢門塾淵野辺  
管理者 佐々木菜乃さん

社長の言葉を直接聞き管理者としての責任を改めて実感しました

— サミットを通して感じたこと、学んだこと

2023年に非常勤スタッフとして入社し、この仕事と教室の魅力に惹かれて常勤スタッフへ。5カ月前から管理者となり、今回初めてキャレオスサミットに参加しました。多部署の方々とこのグループディスカッションでは、限られた時間の中で役割を決め協力する体験が新鮮だったそうです。大人にも個性や得意不得意があると再認識し、結果だけでなく取り組む姿勢や過程を見守る大切さにも気づきました。経営陣の声を直接聞き、経営者目線を学べたことも大きな収穫。人手不足など共通課題を共有でき、部門を越えた対面交流の価値を実感した機会となりました。



サミットの数日後に役員会で経営会議があったのですが、グループディスカッションで出たアイデアを議論し、さっそく試運転を始めているプロジェクトもあります。一度に全てを実現することは難しいですが、少しずつ進めていけるようにしたいと思っています。

坂東 一正さん

